

俊，協力委員：川邊哲也

*¹ Community Medicine Education Committee

*² Shinichi Fujimoto

13. 教育の一貫性委員会*¹

田中 雄二郎*²（委員長・東京医科歯科大学）

医学教育は、①卒前教育、②臨床研修、③専門研修、および④生涯学習の4つのステージに大別されるが、従来各ステージは別々に企画・管理・運営されてきた。社会から求められる資質・能力を医師たちが確実に修得・維持・向上するためには、ステージ間の連続性の確保が重要であるとの考えのもと、学会の政策領域の委員会として、2016年に教育の一貫性委員会が新設された。本委員会は、学会内外より各ステージのステークホルダーが参加し、意見交換と情報共有を図り、一貫性のある目標設定等に貢献することを目指している。

本委員会の活動は、第1回委員会（2016年7月）で、医学教育の各ステージ（卒前、臨床研修、専門研修、生涯教育）における「求められる医師の資質・能力等」の検討状況について情報を共有し、第2回委員会（2016年10月）で、「臨床研修の到達目標」と「医学教育モデル・コア・カリキュラム」で違いが見られた「プロフェッショナルリズム」に関して議論した。第3回委員会（2017年1月）で、概ね一貫性ある目標が設定さ

れつつあることを確認したが、現状の懸案事項を整理し、次回の改訂に向けてあるべき姿を準備することとした。

また、第49回日本医学教育学会大会（2017年8月）でシンポジウム「医学教育の各ステージにおける目標達成度の評価について」を開催し、卒前卒後の一貫した目標設定の次の課題として、目標に対する評価を取り上げ、各ステージでの取り組み状況と課題を議論した。

今後も、医学教育における卒前、臨床研修、専門研修、生涯教育の連続性の確保に貢献するための活動を展開していく予定である。

副委員長：野村英樹，委員：大滝純司，石田達樹，今中雄一，江石義信（2016年～2017年），北川昌伸（2017年～），小林誠一郎，清水貴子，高橋誠，羽鳥裕，南砂，吉田素文，オブザーバー：青木史子（2017年～），加藤拓馬（2016年～2017年），佐々木昌弘（2016年～2017年），眞鍋馨（2017年～）

*¹ Educational Consistency Committee

*² Yujiro Tanaka